



エポオールMPバラストー速乾

- 1. 一般名** 変性エポキシ樹脂塗料 (イソシアネート硬化型)
- 2. 用途** 船舶バラストウォータータンク
- 3. 特徴**
 - (1) 完全タールフリーで作業者の安全衛生に貢献するとともに、ライトカー化(グレー色)が可能である。
 - (2) タルエポキシと同等以上の物理的強度・耐久性・強靱性・耐薬品性があり、長期にわたる鉄表面の防食効果を発揮する。
 - (3) JIS K 5664 1種の品質項目を満足するので、タルエポキシ樹脂塗料を使用している用途に適用できる。
 - (4) 旧塗膜との「なじみ」が良く、パワーツール処理面、及び鋼面への密着性が優れ、低ケレン処理面への密着性が良好である。
 - (5) ハイリッドタイプで、塗装歩留りが高く、揮発性有機化合物 (VOC) 量が少ない。
 - (6) 厚塗りタイプで、一回塗装で、250 μ m-dry以上の塗装が可能である。
 - (7) 低温硬化性が優れている。(5 $^{\circ}$ Cでの硬化乾燥時間20時間)

4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	20kg セット(主剤:18 kg、硬化剤:2 kg)			
色相	グレー、山吹色			
光沢	3分つや			
密度 (23 $^{\circ}$ C)	塗料	1.45		
	揮発分	0.85		
粘度 (23 $^{\circ}$ C)	18~28 μ s 2			
加熱残分	80%			
乾燥時間	温度	5 $^{\circ}$ C	10 $^{\circ}$ C	20 $^{\circ}$ C
	指触	120分	90分	60分
	硬化※	20時間	16時間	7時間
標準膜厚	250 μ m			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。
※歩行及び厚膜測定可能な目安となる時間を示す。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油、湿気、塵埃、水分、その他の付着物は完全に除去して下さい。
- (2) 使用時には、主剤と硬化剤を所定量混合し、均一な状態になるまで十分に攪拌して下さい。
- (3) エポオールシンナーHS以外のシンナーは使用しないで下さい。
- (4) 主剤と硬化剤を混合した後は、ポットライフ内に使用してください。
- (5) 塗装間隔が長くなると、密着不良を生じることがあるので、必ず所定期間内で塗り重ねを終了して下さい。

なお、所定の塗装間隔を越えた場合には塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、清掃してから塗装を行って下さい。

5. 塗装基準

項目	内容			
下地処理	[新設] ISO Sa2 以上, [塗替] ISO St3 以上			
調合法	主剤: 90部、硬化剤: 10部 (重量比)			
可使用時間	5 $^{\circ}$ C	10 $^{\circ}$ C	20 $^{\circ}$ C	
	4時間	3時間	2時間	
使用シンナー	エポオールシンナーHS			
塗装法	塗装方法	刷毛、ローラー塗装	エアレス塗装	
	希釈率	0~10%	0~10%	
	標準使用量	0.18 kg/m 2	0.98 kg/m 2	
	標準膜厚	60 μ m	250 μ m	
	ウェット管理膜厚	75 μ m	400 μ m	
エアレス塗装条件		1次圧 0.4MPa (4 kg/cm 2) 以上 2次圧 9.8MPa (98 kg/cm 2) 以上 チップNo.GG0-621~729		
塗装間隔	温度	5 $^{\circ}$ C	10 $^{\circ}$ C	20 $^{\circ}$ C
	最小	20時間	16時間	7時間
	最大	7日	7日	7日

注1) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

注2) 上記塗装間隔は標準の環境における間隔を示すものであり、環境によって変動する。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第一石油類	第4類第一石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。